

【論文（答案）を時間内で書くために必要なこと（試験時間との闘いを制するために）】

1. 「論文（答案）を時間内で書くために必要なこと」とは

筆記試験（記述式試験）では、「もっと時間があれば解答をすべて書くことができ合格できたと思う」と試験後に言っても所定の時間内で書くことができなければ結果は“不合格”です。

「試験時間との闘いを制すること」は筆記試験に合格するうえで最も重要なことです。試験時間との闘いを制し、論文（答案）を時間内で書くために必要なこととは以下の3点です。

- ① 解答を考えるための技術や知識を学ぶ
- ② 論文（答案）を書く力を高める
- ③ 論文（答案）を時間内に書くための時間管理を行う

2. 解答を考えるための技術や知識を学ぶ

解答を考えるための技術や知識を学ぶことについては様々な方法があります。この資料では1つの方法だけを解説します。それは、「過去問を分析すること^{注1)}」です。

孫子の兵法に「彼を知り己を知れば、百戦殆うからず^{注2)}」という格言があります。過去問を分析することはこの「己を知る」に対応することです。過去問を分析することで「何を勉強したらよいか。勉強不足の内容は何か、弱点の分野は何か」などがわかるからです。

過去問を分析することは、解答を考えるための技術や知識を学ぶことのスタートです。

注 1) : 「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の「ジェイタプロコが考える筆記試験に対する受験対策」の資料を参照のこと

注 2) : 「彼を知り己を知れば、百戦殆うからず」とは「敵を知り、己を知れば、百回戦っても負けはしない」という意味です。

3. 論文（答案）を書く力を高める

論文（答案）を書く力を高めることが必要なのは、筆記試験（記述式試験）とは、「書いたものが評価される」という試験内容だからです。

論文（答案）を書く力とは、解答を頭の中で整理する力、整理したことを文や文章として頭の中で変換する力、変換したものを内容が明確に伝わる文で答案用紙に書く力のことです。つまり、論文（答案）を書く力とはこれらの力の総合力のことです^{注1)}。

論文（答案）を書く力があれば、例えば、「文に変換する時間に手間取り所定の時間内で論文（答案）を書くことできなかった」というような後悔をしません^{注3)・注4)}。

注 3) : 「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の「日常業務の中で“論文（答案）を書くこと”に慣れる」の資料を参照のこと

注 4) : 「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の「日常業務の中で“文に変換する力”を鍛える」の資料を参照のこと

4. 論文（答案）を時間内に書くための時間管理を行う

論文（答案）を時間内に書くための時間管理とは、試験科目ごとに「解答を考える時間」と「考えた解答を答案用紙に書く時間」を把握して、所定の時間内で論文（答案）を書くことです^{注5)}。

「解答を考えるための技術や知識」と「論文（答案）を書く力」があっても論文（答案）を時間内に書くための時間管理は必要です。論文（答案）を時間内に書くための時間管理は、試験時間との闘いを制するうえでの核心になることです。

注 5) : 「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の「論文（答案）を時間内に書くための時間管理」の資料を参照のこと

【参考：受験勉強の内容を区分する】

受験勉強の内容を以下のように区分することで^{注6)}、「解答を考えるための技術や知識を学ぶこと」と「論文（答案）を書く力を高めること」に対する勉強が個別にできます。

■受験勉強Ⅰ：仕事以外の時間に、解答を考えるための技術や知識を学ぶ勉強をすることです。例えば、会社からの帰宅後や会社が休みのとき（土日祝）などで勉強します。

■受験勉強Ⅱ：日常業務の中で、論文（答案）を書く力を高めるための勉強をする^{注7)}。

注 6) : 「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の「記述式試験で重要な“2つの力”」の資料を参照のこと

注 7) : 「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の「『日常業務の中で受験勉強をする』という考え方」の資料を参照のこと

以 上